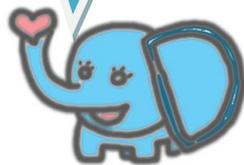


ダンボクラブは、松山市を活動拠点とし、ASD(自閉スペクトラム症)、ADHD(注意欠如・多動症)・SLD(限局性学習症)等の発達障がいの子供を持つ親が集まって活動しており、当事者・保護者への支援を行っています。会の目的は発達障害の子供達が豊かな自立生活を送れるよう生涯支援を行うことです。そのために、家族を中心に専門家及びボランティア(障害児教育)・学校OB・福祉関係者のご支援もいただいています。

ダンボクラブ  
について



☆☆☆活動内容紹介☆☆☆ ~幼児から成人まで~

アドバンス(小学生SST)

毎月1回の保護者会と同時進行で、専門スタッフによるSSTを実施しています。様々なゲームを楽しんだり、交通機関を利用して外出したりするなど、その活動を通して、**・見通しを持って行動すること**・アンガーマネジメント・公共交通機関の利用方法・お金の使い方・ライフスキルなどを身に付けています。また、対人スキルや情報収集能力、社会的なルールやマナーを学んでいます。※きょうだい児の参加も可能です。

特定非営利活動法人  
志リレーションLab  
にご協力いただいています。  
<https://coco-lab.jp/>



パソコン教室  
専門家に教えていただきながら、コンピュータを利用して、様々なスキルを磨いています。

SSTとは...

「ソーシャル・スキル・トレーニング」の略で、対人関係や集団生活を円滑にするスキル(ソーシャルスキル)を身に付けるための訓練です。発達障害を持つ人にも有効な療法として認められています。

青年部 SST(中学生・高校生を中心に)

対人関係ワークショップなどのSSTを実施しています。各種イベントにボランティアスタッフとして参加したり、合宿SSTなどを開催したりすることもあります。



音楽療法

音楽療法士の先生を中心に、歌ったり楽器を演奏したりする中で、音楽のよさを全身で感じつつ、表現力などを身に付けています。

美術教室

いろいろな材料を用いた作品制作を通して、表現する楽しさや、人との関わり方を体感しています。

ワンピース(成人当事者会)・・・18歳以上の成人当事者

月1回、当事者茶話会・勉強会等を開催しています。当事者同士による活動が中心ですが、支援者(アドバイザー)も参加する形式としています。活動には、構成的グループエンカウンターを取り入れています。※構成的グループエンカウンター:与えられる課題にグループで取り組み、その時に感じたことをグループで話し合うことにより、自己や他者の感情や考えを受容できるようになることを目的としたカウンセリング手法



その他・・・イルカセラピー、どんぐり王国(宇和町)訪問、バーベキュー、クリスマス会などを実施して、交流を深めたり、余暇活動を楽しんだりしています。



☆☆☆保護者の活動☆☆☆

保護者会

様々な立場の方に講話をしていただいたり、座談会を実施したりしています。8月を除き、毎月開催しています。

勉強会

臨床発達心理士、特別支援教育士で教諭の新開多恵先生を講師として、毎月、勉強会を実施しています。

その他、不定期で講演会や、成人当事者との交流会などを実施しています。



ペアレントメンター活動

一部の保護者は、発達障がいの子どもを育てた経験を生かし、相談支援に関する一定のトレーニングを受講後、ペアレントメンターとして活動しています。同じ親の立場から、子育てで同じ悩みを抱える保護者に対して、共感的なサポートを行い、地域資源についての情報などを提供しています。



ダンボ通信の発行

私たちの活動等を情報発信することで、発達障がいに対する啓発活動を行っています。

ダンボクラブでは、コロナ禍において制限していた活動を、少しずつ再開する予定です。興味がある方は、ダンボクラブまでお問い合わせください。体験後の入会も可能です。

ダンボクラブ HP → <https://www.dunboclub.com/>